

雁のような集団

今、このステージの上に並んでいる生徒会本部役員選挙の立候補者12名は、立候補以来、朝や昼休みの挨拶運動をはじめとした選挙活動を続けてきました。本当によく頑張ったと思います。1週間前の討論会のことも記憶に新しいです。「SDGsの目標：『つくる責任つかう責任』を達成するために富士見中学校でできることは？」というテーマのもと、一人一人が自らの意見をしっかりと述べていました。新しいリーダー達が前向きな考え方で討論する様子を見ながら、富士見中学校の未来の明るさを感じていました。

また、その選挙活動を裏方として支えた島崎慶 委員長をはじめとした選挙管理委員のおかげさまで、本日の立会演説会・投票を迎えることができます。ありがとうございます。

さて、ここでは、現在の本校のリーダーである3年生が大切にしている考え方を紹介したいと思います。キーワードは「雁（かり）」です「ガン」とも読みます。小学校5年生の国語の教科書で出てきた「大造じいさんとガン」のガンですね。リーダーの「残雪」はとても利口で仲間思いでした。覚えていると思います。3年生は学年全体が「雁のような集団」であることを目指しています。もう少し、詳しくお話をしていきます。

雁は渡り鳥の一種です。冬になると北の大地から、日本に飛来してきます。中には、地球1周をするほど長距離移動する場合もあるそうです。雁は、空を飛ぶ際、V字の隊形を組むことで知られています。一羽で飛ぶよりも飛距離を71%も伸ばすことができます。先頭の雁はかなり風の抵抗を受けますが、大きく羽を広げてはばたくことで、後ろに続く仲間が飛びやすくなります。後ろの仲間は、そのことがよくわかっていますので「ガーガー」と先頭の雁を応援します。そして、先頭の雁が疲れた時は、その役を交代していきます。また、ケガをするなど、群れについていけない仲間がいると、そっとそばに寄り添いに行きます。



みんなのために先頭で進むべき方向を指し示しつつ、仲間のために一生懸命はばたくリーダーがいて、そのリーダーを全力で応援したり、傷ついた仲間に優しく接する集団であったり…3年生は、そんな雁のような集団を目指しているのです。

ここまで学校をリードしてきた3年生に代わり、新しいリーダーである生徒会本部役員を決めていくのが本日の選挙です。リーダーとして選ばれた本部役員がそれぞれの公約を精査し、実現を目指すことは言うまでもありません。それだけでなく、全生徒が自分たちで選んだリーダーを応援してください。それが、先ほど紹介した「雁のような集団」そのものなのだと思います。学校全体が「雁のような集団」を目指してほしいと考えています。

皆さんの大切な一票を、富士見中学校の未来を考え、投じてください。